

年 組 名前：

人口減大月の再生考える

20日に講演会 経済学博士が企画



元久一美
諒なつ優
竹川
小林
鈴木
望月

大月市の人口減少を
考える講演会を企画
した知見邦彦さん
＝大月市猿橋町猿橋

講演会は入場無料。問い合わせ
は大月市政研究会、電話080(5
672)1002。〈竹川元久〉

5月に公表された国勢調査（速報値）で、大月市の人口が2万人割れ目前に迫ったことを受け、大月市猿橋町猿橋の市民団体代表で経済学博士知見邦彦さん（82）が、市の再生を考える講演会を自ら企画した。他の自治体と比較しながら、住民が行政に意見し、まちづくりに参画する「大月スタイル」の構築を訴える。

市民有志でつくる大月市政研究会が主催し、7月20日午後2時から大月市民会館3階講堂で開く。知見さんは2008年、有志ら

研究会代表の知見さんが「大月市」と「大月を良くしよう市民の会」を設立。同年7月から「コミュニティ紙」「大月を良くしよう市民の会新聞」を月1回ペースで16年10月まで、発行した。街の話や、大月短大付属の廃校や小中学校統合問題など市内の社会問題についても扱い、市へ提言もしてきた。

「現在の『大月市』は『静かに有事が進行している状況』といえる」と指摘。「今こそ、住民一人一人が当事者意識を持つことが重要。人口減、税収不足、さらなる人口減という負のスパイラルから抜け出すために、市民は何をしたらいいのか。講演会で、考える材料を提供したい」と話している。

（2026年7月7日付 山梨日日新聞 21面）

問1

経済学博士の知見邦彦さんは、どのような理由で、なにを考える講演会を企画しましたか。

・理由：.....

・なにを考える：.....

問2

知見さんが発行していたコミュニティ紙では、どのような問題を取り扱いましたか。

.....

問3

講演会では、どのような負のスパイラルから抜け出すための話をしたいと話していますか。

.....